

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2893001004		
法人名	株式会社ケア21		
事業所名	グループホームたのしい家武庫之荘		
所在地	尼崎市武庫之荘5-13-12-2		
自己評価作成日	令和4年9月12日	評価結果市町村受理日	令和4年12月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ兵庫福祉調査センター		
所在地	尼崎市南武庫之荘2丁目27-19		
訪問調査日	令和4年10月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・目の前に公園があり散歩に行きやすい環境です。 ・四季を大切に、施設行事に力をいれています。施設内外問わず様々な企画を行っています。 ・食にこだわり、手作りで調理を基本に、入居者様とできることは一緒に行うようにしています。 ・面会は事前予約制で可能であり、ご要望に応じオンライン面会も柔軟に対応しています。
--

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>阪急武庫之荘駅から北東へ、徒歩15分の閑静な住宅地にある「たのしい家武庫之荘」は、1階が小規模多機能施設、2～3階がグループホームで、管理者が双方の責任者を兼務している。昨年2月に、利用者と職員の多くが、コロナに感染したが、軽症で乗り切ることができた。その経験と立地の良さを生かし、長引くコロナ禍でも、利用者の外出や家族の面会に工夫をこらし、ストレスを緩和するように努めてきた。これからも、利用者・家族から信頼される事業所を目指して頑張りたい。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者交代時に、施設理念と目標設定を行い、毎月の会議で発信と施設館内にポスター掲示を行い共有しています。	管理者の交代を機会に、管理者の想いと職員の意見を元に見直し、簡素で解りやすい表現に改めた。玄関にも掲示し共有・実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で地域の方々との交流やボランティアの受け入れができていません。今後、地域との交流機会の再開を考えています。	地域情報の収集に努め、参加の姿勢で計画して出掛けるようにしている。コロナ後を見据え準備している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター講習への参加やオンライン講習会への参加を行い、認知症への理解を深めることを進めています。また、市役所主催の集まり等に参加し、啓発活動を行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染予防対策として少人数での開催が多く、会議が終了後にお電話や面会時等にて個別に家族様等へお伝えしています。	コロナ禍の中で工夫して二か月に一回開催している。出席者から隣接の小規模施設のPR方法や、ブログの更新などアドバイスを頂いた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所内での困りごとは、市の担当者と迅速に連携を図るよう努めています。	3Fフロアでクラスター発生の際は指導・アドバイスを頂いた。地域ケア会議や「みんなのホームルーム」等に参加して、関係づくりに努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月のフロア会議内にて身体拘束防止における事案を検討し、防止策を考えています。年間研修で不適切ケア防止に関する研修を行い、従業員全員に周知しています。	職員には何でも正直に報告しあえる関係づくりに努めている。離床センサーの取り扱いについて、市の指導と家族の願いを聞き解決に努めている。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々、職員との対話を心がけ虐待防止に努めています。また、研修内で自身のケアについての振り返りも行っていただき、必要者は面談も行っていきます。	職員との対話を重視した関係づくりに努め、事例研修で振り返りを促している。全社台でオンライン研修の仕組みもある。	
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度を扱っている事案や、今後必要がある入居者様について社会福祉協議会、地域包括等と連携しています。	制度利用者が1名、検討中の方もおられる。社協と連携を取り相談・活用できる体制を作っている。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様、家族様には入居前に、不安点や疑問点に配慮しながら契約の説明を行っています。	家族の不安や質問が多いのは、緊急時や重度化後の対応で、マニュアルを元に丁寧に説明すると共に、一緒に協力し合おうとしている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1回、顧客満足度調査を行っており、課題に対し改善できるよう努めています。また、電話の機会や面会時に要望等を確認し反映できるよう努めています。	本部の集計した資料の報告があり、要望等には即応・改善に努めている。また、日頃から対話を図り、いい関係づくりに努めている。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	従業員満足度を年1回行っており、課題に対し改善できるよう努めています。また、日頃や会議で従業員の意見を吸い上げるよう努めています。	管理者が個別に年二回面談する機会があり、要望や意見を聞き改善に努めている。日常の対話と良い関係づくりに力を注いでいる。	代表者は、職員の処遇改善が仕事のやりがいとなり、利用者への支援向上に繋がることを、強く意識して、思い切った措置を講じるよう期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリア段位制度、誰伸び人事制度を設け成長できる機会を促進しています。また、法人内のグループと連携し資格取得支援も行っていきます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人が毎月研修できる機会を設けており、法人外への研修参加も促しています。また、新人職員へは育成マニュアルの活用やオンライン研修参加の機会を促し、育成を行っています。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月、法人内でのオンライン会議等を行い、顔を見える関係を作ることができています。また、近隣同業者とも連携できるSNSのコミュニティにも参加しています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、管理者、計画作成者がアセスメントを行い、本人様の不安やお困りごと等を傾聴し、サービスに繋げています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、管理者、計画作成者がアセスメントを行い、家族様の介護においてのお困りごとや要望等を聞き、サービスに繋げています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて、法人内外問わず提案を行っております。また、情報提供できるよう市のパンフレットも設置しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯、買い物等できることはできるだけご自身で行っていただくよう支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍で施設内行事の参加の促しができておりませんが、面会や散歩の機会を作り、本人様とお会い出来る機会を促しています。		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で、なかなか馴染みの人とお会いすることができていなかったり、馴染みの場所に行くことができていません。今後、改善していきます。	コロナ後を見据え、利用者の趣味を取り入れた行事(カラオケ等)を企画する等、社会とのつながりを絶たない取り組みを模索している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	できる能力を活かし、お互いに助け合える、支え合える関係性作りができるよう支援しています。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、電話にてご連絡をお伺いし、必要に応じて相談等を行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生活歴や入居時からのご本人やご家族様の希望、意向を大切に、支援しています。	外出の機会が制限され、歩行能力の落ちた方にマッサージにお連れする等、ご希望を聞き支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、今までの生活歴や馴染みの暮らし方等聞き取りを行い、ご家族様からいただいた情報も都度職員内で共有を行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、朝バイタル測定を行い、健康状態の把握に努めています。何か体調変化があった際は、申し送りノート等活用し、職員内で申し送りを必ず行っています。		
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月1回カンファレンスを行い、課題やケアのあり方について入居者様毎に話し合いを行っています。家族様へは面会時、電話時等に聞き取りやご相談を行っています。	毎月カンファレンスを行い、「おたより」で居室担当より、食事や入浴その他生活の様子、気がかりな点等をお知らせ、面会時や電話等で意見を伺い計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づき等は、個人記録に反映するよう努めています。介護計画の見直しが必要になった際は、計画作成者と都度相談をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問マッサージの導入を行い、ADL維持・改善等の支援を行っています。その他、必要なサービスがあった際は柔軟にご提案させていただこうと考えています。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	四季を感じることができる場所へ、外出することを大切に、様々な企画に挑戦しています。		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご希望に応じた、かかりつけ医と連携を図り、適切な医療が受けられるよう情報提供シート等を用いて情報共有を行っています。	月2回のかかりつけ医の往診と、毎週訪問看護がある。かかりつけ医は24時間オンコール対応している。情報提供シートを活用して共有を図っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護の看護師と連携を図りながら、日々のケアや緊急時の対応等の相談連絡を都度図っています。		
32	(15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、退院時等の調整が円滑の行えるよう、入院前の情報提供や退院前のアセスメント等をご家族様や地域連携室と密に連絡を図るよう努めています。	固定した中心的な入院先はないが、早期治療・退院に繋がるよう地域連携室とは訪問の都度、情報交換に努めている。	
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前に看取りの意向確認を行い、入居後も意向の変化等があった際は主治医、家族様等との話し合いの場を設ける調整も行っていきます。	重度化した時は、あらためて意向を確認して希望に沿うようにしている。まだホームでの看取りの実績はないが、職員研修は怠りなく進めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内の緊急時対応研修を受講している。施設内で、緊急時の初期対応方法についてシミュレーション研修を行う予定。対応方法については、マニュアル化し見やすい位置に掲示している。		
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防訓練を行っています。消防から消火器を借りた訓練なども入居者と共に行っています。民生委員へは運営推進会議にて今後呼びかける予定です。	繰り返し昼・夜を想定した避難誘導訓練を実施している。施設は新しく防災設備は整っている。もしもの時に備え運営推進会議で協力を呼びかけている。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けは、一人一人丁寧に行うよう対応しています。接遇マナー研修も全職員が受講しています。不適切ケア防止に向け、都度個別面談等も行っています。	声掛けが人と人のつながりの接点という気持ちで、職員同士も注意しあっている。接遇マナー研修を定期的受講して振り返っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	おやつやの選択や、衣類の選択等、本人が意思決定できるような関わりを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースや過ごし方を、本人目線で考えるよう努めており、毎月のフロアミーティングで協議する機会を作っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	四季に応じた衣服と入居者様のこだわりや趣向をもとに衣服と一緒に選択しています。本人から要望があった際は、ご家族様にもご協力していただいております。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の片付け(食器洗いや食器拭き、お盆拭き、テーブル拭き等)は入居者様と一緒にしています。	献立は専門業者に委託しているが、都度検討を加え楽しい食事に心掛けている。誕生日や行事食にもこだわり、積極的に取り組もうとしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の水分、食事量を把握し、水分提供方法や食事形態などの工夫を行い提供を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、訪問歯科と連携し口腔内の清潔保持に努めています。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	極力、トイレでの排泄を促し、ご自身でできる排泄動作はご自身で行っていただくよう促しています。	排泄パターンを把握し、昼間だけでなく夜間もトイレ誘導や声掛けに努めている。リハパンの人でも、夏場は安眠を期待して布パンツに変える人もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝に、乳製品やバナナの提供を行い、午前中は体を動かす時間を作り便秘の予防を図っています。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ケアプランに沿った、入浴提供をしており、体調や本人の気分などに合わせ対応しています。入浴剤の活用や、浴後の保湿クリーム等使用した対応など心がけています。	週2回以上を基本に、希望の時間に合わせ対応している。状態に合わせて入浴方法も変更、足浴や季節湯も用意している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じ、お昼寝できる環境を整えています。また、夜間も室温管理の支援を行い、安眠できる環境のサポートを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	落薬事故や飲みこぼしが無いよう最後まで確認しています。また、病状の変化があった際は、主治医、薬局等と連携を図り対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人が習慣化してきたことは、できるだけ継続できるよう支援しています。楽しみごとや気分転換ができる機会を増やしていきたいと考えています。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	暖かい日は、外の洗濯物を干したり、目の前の公園に散歩に行ったりしています。買い物も少数ですが一緒に行く機会も設けています。	周辺に公園や桜の名所も有り、機会を作って出掛けるようにしている。コロナ禍でも少数で、目の前の公園や買い物に出掛けている。車両が3台用意されている。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持していないと落ち着かない方は、家族様了承のもと少額のみ管理していただいています。今後、自身で支払いを行うという動作を支援していきたいと考えています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯を所持されている方は、自身で家族・知人等とお電話にてやり取りされ、その他の方は施設のお電話にてやりとりする機会も設けています。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔で居心地よく過ごせるよう、毎日共有空間の清掃活動行っています。2~3ヶ月に1回、チェックシートを用いて清掃チェックを行っています。	整理整頓・清掃を徹底して、心地よい生活空間作りに努めている。季節の行事で作成した作品を飾り季節感を出している。玄関ではメダカが泳いでいた。裏庭には植栽スペースがある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの設置や椅子を設置し、入居者様同士でくつろぎ談話できる場を設けています。		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていたタンスや布団、置物、写真等、持ってきていただき不安なく快適に過ごせよう支援しています。	利用者が家族と相談され、思いの物を持ち込み飾られ生活されている。それぞれ個性あふれる部屋作りがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	時計や日付等、各場所に設置し自身で一日の行動が決定できるよう支援しています。使用方法等が分からない方へは説明分を張っている箇所もあります。		

基本情報

事業所番号	2893001004
法人名	株式会社ケア21
事業所名	グループホームたのしい家武庫之荘
所在地	尼崎市武庫之荘5-13-12-2 06-6491-0221

【情報提供票より】令和 4 年 9 月 12日事業所記入

(1)組織概要

開設年月日	令和1年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 12人 非常勤 4人	常勤k換算 14.5人

(2)建物概要

建物構造	併設型		
	鉄骨造り 3階建ての2~3階部分		

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	83,000 円	その他の経費(月額)	29,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	前払い費 83000円+29000円	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	50 円
	または1日当たり1,100円			

(4)利用者の概要(8月 31日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	8 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83、6 歳	最低	76 歳	最高	93 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	立花みどりクリニック・尼崎医療生協病院・西宮きづき歯科クリニック
---------	----------------------------------

(様式2(1))

事業所名 グループホームたのしい家 武庫之荘

目標達成計画

作成日 令和4年10月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	コロナ感染状況により、面会規制等もあった為ご家族様と入居者様とが過ごす時間を作る事が減少し、家族様との繋がりが薄れてきています。	家族様と過ごす時間を意識した、スタッフ側からの接点機会の提案を随時行っていきます。	各居室担当より入居者様とご家族様の意向を都度傾聴し、お誕生日月等繋がり作りができる機会と企画を随時実行していきます。	12ヶ月
2	2	コロナ禍で地域との関わりを持つ機会が減少、地域住民であることを心がけメリハリのある生活ができるよう支援していきたい。	開かれた事業所運営を行っていきます。	入居者と共に買い物や、地域のイベントに参加したり、駐車場や目の前の公園を活用したイベントも企画し閉鎖的な環境を脱却していきます。	6ヶ月
3	33	看取りの実績が無いため、今後看取り期におけるケアについて不安なスタッフがいるため不安を解消したい。	入居者様に寄り添い、関わる時間を意識したサービスの提供をしていきます。	看取り研修を定期開催し、ケア方法や入居者・家族の意向に寄り添った時間を設けていきます。	6ヶ月
4					
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。